

令和4年4月20日

各位

公益社団法人大分県薬剤師会  
若手薬剤師部会

## 令和4年度第1回若手薬剤師部会研修会の開催について

前略、当会の活動につきましては、平素よりご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

子宮頸がんは女性特有のがんとして乳癌に次いで発症率が高いがんで毎年1万人が罹患し、3千人近くが命を落としています。特に20～30代女性のがんの発症率では第1位となっています。

一方で、子宮頸がんを予防するHPVワクチンは予防接種法において2013年4月に定期接種化されたものの、広範囲の疼痛や不随意運動などの「多様な症状」が接種後まれにみられたことから、厚生労働省は2013年6月に接種の積極的勧奨を中止し、その後、ワクチンの効果や安全性についての研究が進み、2022年4月から積極的勧奨を再開することになりました。

HPVワクチンの接種に関する話題は各種メディアでも取り上げられていますが、本年4月より積極的勧奨が再開されたことから、「HPVワクチン」と「子宮頸がん」をテーマにその基本的な知識と薬剤師としての関わり方を研修会を通じて深めていきたいと考えています。

参加を希望される方は下記ご記入の上、令和4年5月6日（金）までにお申し込みください。

### 記

1. 日 程：令和4年5月15日（月）10：00～12：00
2. 場 所：県薬会館3階 研修ホール
3. 講 師：大分大学医学部 産科婦人科学講座 准教授 河野康志先生
4. 演 題：「子宮頸がん予防HPVワクチン接種の現状と取り組み」
5. 参加費：県薬会員 無料

～5月15日若手薬剤師部会研修会に参加します～

参加者氏名： \_\_\_\_\_

参加者勤務先： \_\_\_\_\_